

大会プログラム

公益社団法人日本オリエンテーリング協会
日本ランキングイベント

第29回

札幌オリエンテーリング クラブ大会

令和6年8月3日(土)ミドルディスタンス
4日(日)ロングディスタンス

雨天決行・荒天中止



Sapporo Orienteering club
札幌オリエンテーリングクラブ

主催：札幌オリエンテーリングクラブ

協力：

北海道森林管理局石狩森林管理署
胆振東部森林管理署
北海道オリエンテーリング協会

後援：

千歳市
公益財団法人千歳市スポーツ協会

大会実行委員長：櫻本 信一郎
(札幌オリエンテーリングクラブ会長)

運営責任者：山田 健一
競技責任者：泉 修平
コースプランニング：高木 一人(ミドル)
泉 修平 (ロング)

イベントアドバイザー：田中 徹
(千葉県オリエンテーリング協会)

目次

1. P2 ごあいさつ
2. P3 会場・交通情報
3. P6 競技情報
4. P17 競技の流れ
5. P20 注意事項

大会全般についての問い合わせ・緊急連絡先

E-mail: 29th@spk.gob.jp

緊急連絡先 070-4473-5561 (山田)
大会専用番号 8月2日・3日・4日のみ

運営役員

朝妻 清宗	江野 弘太郎	大西 肇	小野寺 はるみ	清水 嘉人	末満 寛太
菅野 柊斗	菅野 美輝	戸田 聖人	早川 清	原田 憲夫	藤井 春菜
森 倭人	山崎 弘文	的場 洋輔(友情運営)			

【1】ごあいさつ

札幌オリエンテーリングクラブ会長 櫻本 信一郎

第29回札幌オリエンテーリングクラブ大会が国内外の各地から190名を超えるオリエンティアの皆様をお迎えし開催できますことは、主催者として大変喜びにたえないところであり、ご参加をいただきました皆様に感謝いたしますとともに心から歓迎申し上げます。

当クラブの大会は、ヨーロッパまで行かなくても北海道があるではないかという言葉が示す通り本州とはひと味違った北海道ならではのトレインを体感して欲しいという思いで開催してまいりました。

さて、本大会のトレインは、令和3年に開催されたミドルディスタンス競技にて0.2%という驚異のアップ率で話題をさらった等高線が見当たらない特性がございます。同時に、この地は北海道の分水嶺でもあり、北は日本海、南は太平洋への原点となる沢を目にすることができます。

どうかこのフラットなトレインで北海道の夏を満喫しながら、日ごろの鍛錬の成果を存分に発揮され、清々しい森でナビゲートする喜びをこの試される大地「北海道」で存分に味わっていただければ幸いです。

本年も皆様を爽やかな笑顔と暖かい気持ちでお迎えし、思い出に残る楽しい夏となりますようクラブ員一同で努めてまいります。
オリエンティアの皆様のご健闘を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

結びとなりますが、本大会にご協力・ご支援いただきました北海道森林管理局石狩森林管理署様、同胆振東部森林管理署様、北海道オリエンテーリング協会様、千歳市様、公益財団法人千歳市スポーツ協会様をはじめ関係諸団体の皆様のご支援のおかげと心から感謝を申し上げます。

【2】会場：泉沢向陽台コミュニティセンター

◆会場周辺地図・車での来場

千歳市里見2丁目9-2 マップコード：113 702 819*28

会場内体育館は**飲食・土足厳禁**です。飲食は屋外に出てお取りください。



- 会場使用時間 8月3日(土)1日目 11:00~17:30 8月4日(日)2日目 8:15~15:00
- コミュニティセンター(コミセン)駐車場の使用はできません
- 会場前での同乗者乗降・荷物下ろしは可能ですが、速やかに移動してください
- エゾシカの飛び出しと速度取締(レーダーパトカー待ち伏せ)にご注意

◆ 駐車場地図



- 駐車券の発行はありません

- 駐車可能台数

公共駐車場（コミセン北 150m 郵便局裏） 東側 24 台 西側 37 台

泉沢自然の森駐車場（コミセンから約 700m） 13 台

※地域共用駐車場であり占有できるものではありません

◆ 公共交通機関での来場

JR千歳線 千歳駅（H13） 東口バス乗り場5番 千歳相互バス

【 泉沢向陽台 】ゆき乗車 所要約22分 大人運賃340円

「千歳リハ大学」下車 徒歩1分 交通系ICカード使用不可 Paypay 使用可



会場ゆき路線バス（該当便のみ掲載）

千歳駅前東口⑤ 7:50 8:30 8:50 9:20 9:50

10:50 11:20 11:50 12:50 13:20 14:20

かえり（千歳駅方面）

千歳リハ大学 12:22 13:22 14:22 14:52 15:52 16:52 17:52

◆ 受付・配布物・女子更衣室

クラス毎に分けられた列から配布物が入った封筒をお持ちください。封筒の中には、[バックアップラベル・ナンバーカード・レンタルEカード（該当者のみ）・めろん券・とうきび券（2日目のみ）](#)が入っています。中身を確認してください。ナンバーカード、Eカードは2日間共通で使用します。安全ピンは各自お持ちください。受付で若干数のみ配布いたします。

参加料の過不足があった方は受付にて精算後に配布物をお渡ししますので受付へお越しください。

女子更衣室は1日目は12時から、2日目は開場時から使用できます。
体育館内は土足禁止のため使い捨てスリッパ等用意すると便利です。

【3】競技情報

◆ 競技形式

公益社団法人日本オリエンテーリング協会が定める「日本オリエンテーリング競技規則」に準じたポイントオリエンテーリング競技とする。

◆ 特別規定

競技中の参照、情報伝達をしないことを条件に通信端末（携帯通信端末・スマートフォン等）、GPS機器の持参を妨げません。高齢の参加者、初心者においてはむしろ持参を推奨します。

禁じる行為の具体例として会場からスタートへ向かいフィニッシュするまでの間、通話、メール、LINE、SNS等で情報を授受する行為、GNSS(GPS)機器、web画面（Google Mapなど）等で現地や地形を確認する行為等を指します。写真、動画撮影等は自己および他人への大会競技中の利益供与にならないものについては妨げません。

一方、怪我人や自身の救助に際して、又はどうしても競技時間内、フィニッシュ閉鎖まで帰還が間に合わない事態においては積極的に緊急連絡先への通信使用を求めます。緊急連絡先は地図の裏面に記載してあります。怪我人の救助は自身の競技より優先されるものであり、その際における通信使用が失格等の不利益につながることはありません。

【背景】

3年前の本トレイン使用大会にて検索対象事案が発生し警察救助要請寸前の事態となりました。運営スタッフは弱雨夕暮れ時のヒグマ遭遇リスクが高まる中、二次被害リスクにさらされながらの搜索活動を強いられました。競技特性とはいえこのご時世通信手段も持たずにヒグマのいる山林にて遭難した結果、外部に救助を要請するというのは社会的には非常識な活動と咎められても仕方ありません。オリエンテーリング競技が今後も持続するための安全対策の一助とするものです。

一方、写真・動画撮影で競技の魅力を高める行為を制限するものではありませんが、公平性と両立が課題となり参加者のモラルに委ねる部分となります。くれぐれも端末の紛失や破損に注意して安全かつ公正な競技を行い、終了後はデータ・画像等を活用してお楽しみください。

なお、端末紛失に際し運営側で搜索することはありません。また8月4日14:30フィニッシュ閉鎖以前のトレイン立入は搜索目的であったとしても禁止とします。

本大会地図の画像使用、転載については両日フィニッシュ閉鎖時刻以降であれば許可します。思い出と盛り上げの一助になれば幸いです。ただし、大会終了後に北海道森林管理局、札幌オリエンテーリングクラブの許可を得ず、本大会地図を用いてのオリエンテーリングを含めた野外活動、リメイク行為（俗にいうパクリ行為）は厳禁とします。

◆ 服装

競技に使用するウェアやシューズに関する制限は設けません。野生動物（特にヒグマ・エゾシカ）への存在喚起のため大きめな音が鳴る熊鈴を持参、また初心者はホイッスルの持参もお勧めします。また、スポーツグラス等で下枝の張り出しから目を保護することをお勧めします。

公序良俗に反する服装の場合、出走を禁止することがあります。

ナンバーカードは2日間共通にて使用します。必ず胸の位置に付けてください。

◆コントロール通過証明

EMIT 社製Eカードを用いた電子パンチングシステムを採用します。

Eカードへの書き込みは禁止しますが、バックアップラベル剥離落下防止のためテープで一箇所軽く留めることをお勧めします。バックアップラベルの記印は選手の義務とし、Eカードが正常に作動しない場合はバックアップラベル記印によるコントロールの通過が確認できた時のみ完走とします。

◆救護所・給水所

地図上で  印がある場所は有人の救護所で給水も可能です。絆創膏等の簡易応急用具が必要な場合は役員にお知らせください。地図情報を隠さないために印刷濃度を70%としています。

2日目ロングディスタンス競技においてはディスクリプションの右端H欄に救護所マークのあるコントロールが有人の救護所（給水）となります。

地図上で  印がある場所は給水所です。従来通り位置は記号の中心となります。前述の救護所以外は全て無人の給水所です。ペットボトル水と紙コップを用意してしますのでセルフで給水してください。水の用意には限りがあるので飲用のみとし、水をかぶる等の行為は厳に慎んでください。使用した紙コップは確実にゴミ袋の中に捨ててください。空のボトルのキャップは外したままにしてください。

夏の大会ということで給水所を多数設置しておりますが、参加されるみなさまも熱中症にご注意いただき、決して無理をしないレースを心がけてください。

◆地図・トレインプロフィール

Day 1 ミドルディスタンス競技

縮尺 1:10,000 下記以外のクラス

1:7,500 M70A・M80A・M90A /

W50A・W60A・W70A / BS

等高線間隔 5m ディスクリプション記載は1m単位

走行度 4段階表記

地図サイズ A4判

地図表記 ISOM2017-2 準拠

コントロール位置説明 ISCD2024 準拠

大学新人・大学新人女子・BL・BSクラスに
おいては日本語併記

配布用位置説明の最大寸法 縦16.5cm×幅5.2cm

レーザープリンタ出力 ビニールシーリング済

Day 2 ロングディスタンス競技

縮尺 1:10,000 下記以外のクラス (第1スタート)

1:7,500 M70A・M80A・M90A (第2スタート)

W50A・W60A・W70A

等高線間隔 5m ディスクリプション記載は1m単位

走行度 4段階表記

地図サイズ 1:10,000クラス A3判

1:7,500クラス A4判

地図表記 ISOM2017-2 準拠

コントロール位置説明 ISCD2024 準拠

大学新人・大学新人女子・BLクラスにおいては
日本語併記

配布用位置説明の最大寸法 縦20.5cm×幅5.2cm

レーザープリンタ出力 ビニールシーリング済

トレイン&コースプロフィール

全域が国有林であり多くはマツ類の針葉樹林となっています。植林10年未満の幼林筋は下草刈りにより一方向のみ小径と同様の走行度を有するためルート選択に大きな影響となるでしょう。3年前と比較すると樹木の成長により走行度合は低下しています。造林作業道や植樹切り開きが発達しているため緑っぽい見た目の割には走行度が高いトレインです。また、概して枝打ちされていない針葉樹林よりも広葉樹林の方が走行度は良好です。

ミドルは比較的狭い範囲での競技のため上位クラスはレグ線が錯綜し、隣接コントロールと他の競技者の動きに惑わされないことが課題となります。また、全クラスアップを感じる場面がないのでスピードレースとなりますが、走行度が高い割に見通しはさほど良くないので一度アタックを外すと苦勞するでしょう。また、不明瞭小径はこの時期本当に不明瞭で横切って小径を認識するのは難しいです。エゾシカの食痕により前大会でヤブだった場所が新芽を食い尽くされ枯死してしまい、ヤブが消えた(薄くなった)場所が多くなっており修正が追いついていません。

ロングについてはルートチョイスが問われるロングレグが盛り込まれるものの比較的アタックは容易で競技特性に沿ったものとなっております。どこも似たような風景なので現在地把握を怠ると混乱必須です。

両日共に特殊記号の「木の根」を多くのコントロールで採用しているのによく理解の上ご参加ください。

◆各クラスの距離・登距離・想定ウィニングタイム

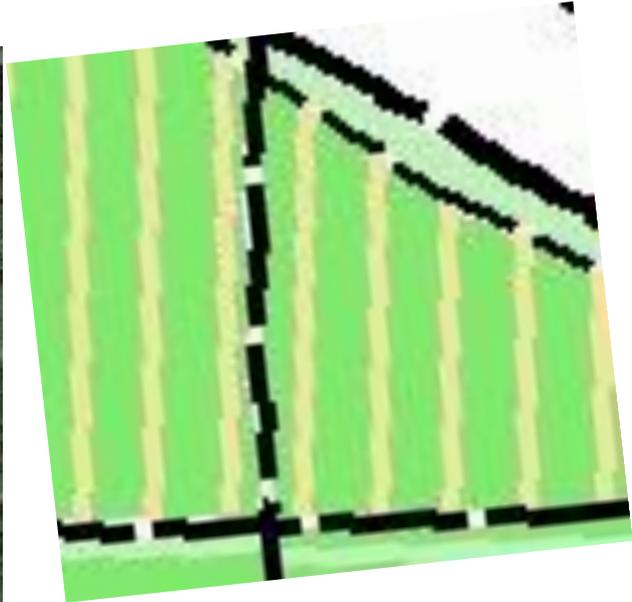
	ミドルディスタンス			ロングディスタンス		
	競技時間 90分			競技時間 180分		
	距離	登距離	ウィニング	距離	登距離	ウィニング
M21E	6.1km	14m	38分	13.0km	246m	90分
M21A	4.7km	8m	30分	10.1km	126m	80分
M21AS	4.7km	8m	40分	5.2km	41m	55分
M30A	3.7km	7m	30分	9.0km	96m	70分
M40A	3.4km	5m	30分	7.1km	64m	65分
M50A	3.4km	5m	35分	6.2km	59m	65分
M60A	3.1km	5m	30分	5.2km	41m	50分
M70A	2.0km	3m	30分	3.2km	31m	50分
M80A	1.6km	3m	30分	2.5km	30m	50分
M90A	1.6km	3m	30分	2.0km	24m	50分
M20A	3.0km	6m	30分	7.1km	64m	60分
W21E	3.7km	7m	37分	9.0km	96m	90分
W21A	3.0km	6m	30分	6.2km	59m	80分
W21AS	3.0km	6m	40分	4.7km	49m	60分
W30A	3.1km	5m	30分	5.2km	41m	70分
W40A	3.1km	5m	30分	4.7km	49m	75分
W50A	2.0km	3m	30分	3.2km	31m	55分
W60A	2.0km	3m	30分	3.2km	31m	60分
W70A	1.6km	3m	30分	2.5km	30m	50分
W20A	3.1km	5m	30分	4.7km	49m	60分
大学新人	2.7km	5m	30分	5.7km	45m	60分
大学新人女子	2.2km	3m	30分	4.1km	38m	55分
BL	2.7km	5m	30分	5.7km	45m	60分
BS	1.9km	2m	30分	エントリーなし		

- 登距離は OCAD Route Analyzer が示す 1m 単位の数値による
- 赤字は要綱からの変更
- は第2スタート対象クラス

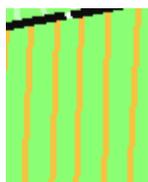
◆本大会のみ定義される地図表記について

「走行・歩行可能な植林筋」の実寸表記について

本テレインは国有林内のため植林地帯が大部分を占めます。その中でも植樹されたばかりの幼林地帯は生育するまでの約 10 年間丹念に下草刈りがなされるため、ほぼ小径と同様の走行可能度を有しルートチョイスに大きな影響があります。その表記は実寸表記であり基点から何番目の植林筋に進入するかもルートチョイスとなり得ます。小径同様の高い走行度を有しますが幼林を倒したりすることの無きよう幼林保護にはくれぐれもご配慮ください。(今後のテレイン使用に影響します)



実寸表記を前提に3ランクの走行度合いを表現しています。



植樹したものの、エゾシカに新芽や葉を食い散らかされて枯死してしまい、単なるラフオープンと化した植林筋です。この季節草がボウボウですが走行は可能。



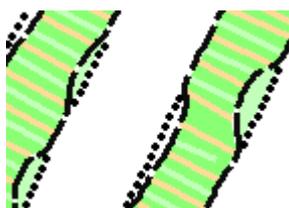
ただし、ミドルの一部上位クラスで使用されるエリアは昨年末の積雪前に調査した区域ですが、初冬と夏で走行度合いのイメージが変わりラフオープン筋とヤブ筋の区別が付かなくなっていました



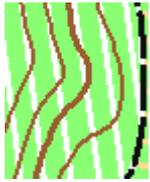
ラフオープン筋 →



次ページ凡例の走行度が低下した筋 →



オレンジと緑の筋を交互に記載し植林地帯の走行度合いを表現しましたが、この時期はどちらの色の筋もあまり走行度合いに差異はありません



植樹した幼林が人の背丈より成長した植林筋です。走行は容易ですが、もれなくクモの巣が付いてきます。



上記がさらに成長し、枝葉が伸びて走行度が低下した植林筋です。走行度が低下したラフオープンも含まれます



下枝により一方向に進みやすい針葉樹林
Conifer forest that only easy running in one direction due to low twigs

走行度に方向性がある針葉樹林

枝打ちされていない針葉樹林帯を意味します。上記の「走行・歩行可能な植林筋」は植林筋を線状特徴物として実寸表記しているの表記の筋と現地は一致しますが、こちらは緑面に白抜き白線で走行しやすい方向性を示しているに過ぎず、白線≠現地の走りやすい植林筋 となります。



植樹された方向には走行可能



しかし 90 度横を向けば下枝により通行しにくい

✕ 「倒木の根」の表記について

台風被害により根こそぎ倒された倒木の「根」の部分を実験記号として採用しています。(ISOM 419 特殊な植生特徴物) 10m 以内に近接しているものは記号が重なり読図の妨げとなるのを防ぐため、1つの記号で群を表現しているものもあります。(2つの根を1つの大きな特徴物と捉えたその中心位置を表記) 取捨基準は概ね高さ約 120cm 以上かつ幅 150cm 以上の根を採用しています。位置説明記号の ISCD 4.10 倒れた木の上向きの根 The upturned root of a fallen tree. として位置説明には記載します。



このような巨大な倒木の根はアタックの方向も制限されます。設置箇所は根側にフラッグを設置しているのでディスクリプションのG欄に「南東側」と表記されていれば南東から北西にかけての倒木と想定でき記号中心から倒木方向については概して走行度が良くないと推定できます。

- × 廃車 倒木置き場 Scrapped car
Fallen trees collection point



倒木置き場は概ね高さ 150cm 以上のものを取得

- 炭焼き窯跡 Charcoal kiln ruins



◆エスケープルートについて

本トレインは千歳市内から西方の支笏湖まで 10km 以上に及ぶ深い森林地帯の東端に位置し、一切の集落や建造物のない無人地帯となっており、ロングディスタンス範囲の一部では携帯通信が不可能です。1 日目ミドル競技・2 日目ロング競技共にエスケープルートは東方に向かう道を選択し住宅街に向かうことのみとなります。

トレイン南北を貫く地図名でもある厚平内（あっぺない）林道は6月開催千歳 JAL マラソン走路でもあり、ローダーにて整備され他の林道とは明瞭に走行度合が異なります。厚平内林道を越えて西方にマップアウトすることはすなわちヒグマの家庭訪問をしに行くのと同義であり我々の搜索能力を超え警察・消防等の救援を仰ぐほか搜索の手段はありません。（携帯通信不通エリア）

◆獣害（ヒグマ・エゾシカ）についての対応

当地はヒグマ生息地域です

ヒグマ側に逃げてもらいしか対応のしようがありません

被害を避けるために

- 熊鈴等、音を出して野生動物に存在をアピールしましょう。
- 獣臭、尋常じゃない気配、異変には敏感に対応しましょう。
- 林内で断続的なクラクション音が聞こえたら競技中止の合図です。速やかに安全にフィニッシュに向かってください。
- 競技時間やフィニッシュ閉鎖時間は厳守しましょう。競技時間を過ぎても競技を続ける身勝手な行動は搜索する我々運営者や仲間を危険にさらす行為です。

運営対応

運営側の対応として競技前のコントロール起動確認のため林内を複数人で廻ることによりある程度の追い出し効果はあると料しますが限定的なものです。不幸にして朝のコントロール起動確認時点でヒグマと遭遇してしまった場合は残念ながらその日の競技は中止とさせていただきます。

競技中に万が一ヒグマを見かけてしまった場合はまずは自身の安全を第一に行動してください。「背を向けて逃げるな」等いろいろ言われていますが、丸腰に近い競技者が対処できることもあまりなく考えている余裕はないはずです。その上で極力大きい道を選択してフィニッシュもしくは救護所役員にお知らせください。その上で競技役員は複数台の車両で断続的にクラクションを鳴らし競技者に競技中止を知らせます。一般車両が立ち入ることのない国有林内ですので、断続的なクラクション音が聞こえた場合はすぐに競技を終了し、極力大きい道を選択しフィニッシュへ向かってください。フィニッシュでは必ずEカードにより帰還チェックを受けて未帰還者管理にご協力ください。会場内では随時未帰還者リストを掲載、更新します。もし帰還しているにも関わらず未帰還者リストに自分の名前がある場合は必

ず会場役員に申し出て未帰還者の管理にご協力願います。

正しく恐れ・正しく対応

競技者である我々が「正しく恐れる」こととして、ヒグマの生息地に踏み入れているという認識を常に持ち、「正しく対応する」姿勢として、鈴等の音が出る仕様での出走、尋常でない気配や獣臭を感じたらすぐさま引き返す、競技時間やフィニッシュ閉鎖等の時間を厳守し行動が活発となる夕方以降の入林を避けるといった対応が必要と考えます。

近年爆増しているエゾシカについて人的被害は聞かないものの農業林業被害はヒグマの比ではありません。人間を見つけたらエゾシカの方が基本的に逃げていきますが、群れで行動するエゾシカの疾走はかなりの迫力があり、ある競技者の存在に気づいて逃げ惑うエゾシカの疾走に驚いた別の競技者が転倒してケガをすといった事例は過去にあります。また、会場への往復に車で来られる方は道路脇からのエゾシカの飛び出しにも十分ご注意ください。(特に新千歳空港と新千歳空港インターチェンジ間の道道 1091 号泉沢新千歳空港線は出没多数、事故多発。レンタカーが多い空港近辺はスピード違反の取締も多いのでそちらも要注意)

また、ダニも多いのディート成分配合の害虫忌避剤をスタート前にスプレーする等の対応にてダニに刺されないようにご注意ください。

北海道庁「ヒグマに注意」 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/higuma/kihon.html>



【4】競技の流れ

◆スタート地区

- スタート地区にトイレはありません。
- スタート地区の時計は現在時刻を示しています。
- スタート地区で給水を受けることができます。また、フィニッシュまでの荷物輸送が利用できます。輸送希望者は名前を書いたビニール袋を各自で用意し搬送指定箇所に置いてください（**運営では袋の配布は行いません**）。紛失・破損の責は負いません。また、荷物輸送がフィニッシュに間に合わない可能性もあります。
- アクティベートユニットにEカードをはめた際、ユニットのランプが光らない、発光が鈍い場合はEカードの電池切れ、故障している可能性があります。役員に申し出て交換してください。マイカードが故障しスタート地区でEカードをレンタルされた方は競技終了後に会場受付で使用料300円をお支払いください。
- スタート3分前に枠に入り、2分前枠にて配布用位置説明表を受け取ることができます。1分前枠で自分のクラスの地図を確認し（新人クラスとBL・BSクラスのみ1分前にて地図を見ることができます）、10秒前の予鈴と同時にEカードをスタートユニットの上に置き、スタートチャイマーの合図とともにEカードをユニットから離して地図を受取スタートしてください。リフトアップスタートとなります。
- 赤白テープ誘導に沿ってスタートフラッグを通過して競技を開始してください。
- **スタート時刻に遅刻した方**は役員にその旨を伝え、役員の指示に従って遅刻者枠から出走してください。遅刻者の競技タイムはスタートリスト記載の正規スタート時刻から計算します。ただし、運営側の不手際についてはこの限りではありません。

◆フィニッシュ

- **競技時間を過ぎそうな場合には、たとえコースを全て回っていても棄権し、フィニッシュを通過してください。フィニッシュ閉鎖時刻を過ぎても未帰還の場合、ケガ、野生動物に襲撃された等の最悪の事態懸念をもとに捜索の対象となります。新入生・経験の浅い参加者は上級生や同行者が徹底してこのルールとマナーを指導してください。**
- フィニッシュ方法はパンチングフィニッシュ（Eカードをフィニッシュユニットにはめた時点で競技終了）です。フィニッシュではEカードを読み取りせず、会場の計算センターで読み取りします。2日目に出場しない方でEカードをレンタルした方は会場にて読み取りの際に回収します。
- ペナルティ表示された場合は計算センターでバックアップラベルに記印の跡が確認できれば完走とします。
- 調査依頼は会場受付にて任意の書式にて提出してください。
- フィニッシュ後の地図回収はしませんのでスタート前の選手への情報提供は禁止します。
- 途中から合流するスタートへのテープ誘導を逆走して会場に戻ってください。
- スタートにて荷物を預けた方は忘れずにお持ち帰り下さい。
- 会場に入る前に泥靴は必ず脱いで入館してください。

◆成績速報

計算センターは会場体育館入口になります。忘れずにEカード読み込み処理を行ってください。
(未処理は未帰還者として扱われます) 1日目終了後のレンタルEカードは各自で保管しバックアップラベルを貼り替えて2日目の競技に使用して下さい。

成績速報は最終スタート終了後 [Lap Center](#) でライブ速報します。

◆調査依頼・提訴

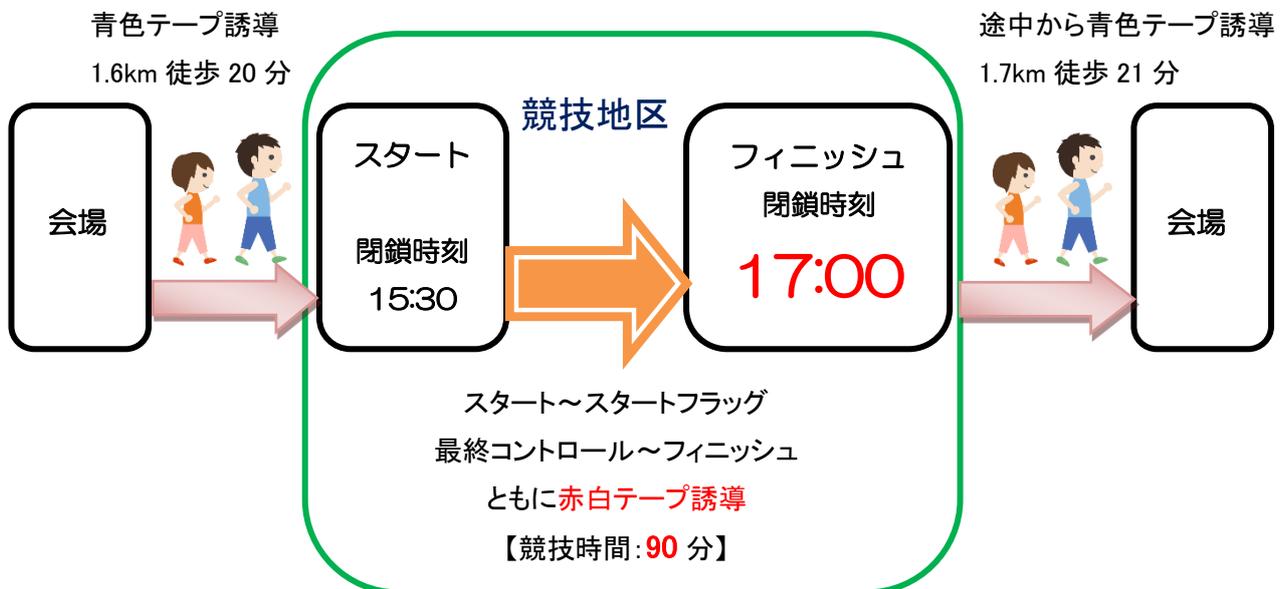
競技の後、公平性に疑義がある場合、競技者は調査依頼を提出することが出来ます。調査依頼は会場にて任意の書式にて受付へ提出してください。提出された調査依頼の内容をもとに競技責任者が回答し、公式掲示板に掲出いたします。その内容に不服がある場合、15分以内に提訴を行ってください。

調査依頼締切時刻 ミドルディスタンス 8月3日(土) 17:00
ロングディスタンス 8月4日(日) 14:30

本大会の裁定委員 酒井 佳子 様 (札幌農学校)
稲田 旬哉 様 (OLCふるはうす)
熊谷 智之 様 (ルミカルフOC)

◆Day1 ミドルディスタンス競技

会場：入場開始 11:00



- スタート閉鎖時刻（15:30）以降は出走できません。
- フィニッシュ閉鎖時刻（17:00）までに未帰還の場合は搜索の対象となります。また、翌日競技にユニットを移設する都合上、未帰還者の有無を問わず 17:00 に撤収を開始します。
- 1日目は会場帰還後解散となります。荷物を置いたままにはできません。会場閉鎖時刻は 17:30 の

予定です。

◆Day 2 ロングディスタンス競技

会場：入場開始 8:15

第1スタート 縮尺 1:10,000 地図使用クラス



第2スタート M70A・M80A・M90A・W50A・W60A・W70A 縮尺 1:7,500 地図クラス

会場内駐車場から第2スタート地区へ車輛輸送となります。所要 20分。

第1便 9:30 発 M80A・M90A・W50A・W60A

第2便 10:10 発 M70A・W70A

出発時刻に間に合うよう輸送ハイエースにご乗車ください。第2スタートそばまで送迎します。

第2スタートでも給水を受けることが可能です。ウォーミングアップはスタート役員の指示範囲内にて行ってください。

フィニッシュは第1スタートクラスと共通です。

- スタート閉鎖時刻（11:30）以降は出走できません。
- 地図上に表記のない別スタート（第1スタートもしくは第2スタート）からスタートフラッグまでの赤白テープ誘導が存在します。
- フィニッシュ閉鎖時刻（14:30）までに未帰還の場合は搜索の対象となります。
- 会場閉鎖時刻は 15:00 の予定です。

◆ 地図販売 表彰

- 順位が確定次第、表彰式を行います（13:45 頃を予定）。各クラス 2 日間の所要時間を加算した総合成績 3 位以内、かつトップ比 150%以内の方を表彰します。
- 競技終了後受付にて本大会の【各クラスのコース図】A 4 判地図 300 円、2 日目ロングディスタンス A 3 判地図は 500 円 【全コントロール図】ミドル 600 円、ロング 800 円にて販売します。
- 販売枚数には限りがあります。確実に手に入れたい方は予め 29th@spk.gob.jp 宛に希望地図、枚数をご予約ください。

【5】注意事項

◆大会の開催中止判断

著しい荒天予報、その他の理由により主催者が参加者の安全を確保できないと判断した場合、または交通機関のトラブルなどにより参加者の大半が来場できないと予想される場合は、大会を中止する場合があります。中止の場合は、前日（8/2）までに大会 WEB サイトにて発表します。

なお、大会中止の場合でも参加費の返金は一切行いませんので、ご了承ください。

◆大会全般の注意

- 感染予防にご協力ください。地域住民の不安を煽ることのないようご配慮ください。
- 駐車場内、会場内での事故や盗難等については、主催者は一切責任を負いません。
- 自分で出したごみは各自お持ち帰りください。会場内、競技地区では火気使用厳禁です。
- 万が一怪我をしてしまった場合の通院に備え、保険証またはそのコピーをご持参ください。
- 参加者の不注意または故意によって生じた怪我、損害（第三者に与えたものも含む）は参加者の責任となります。主催者は一切その責任を負いません。
- 本大会でのケガによって入通院した場合、主催者加入傷害保険補償対象となりえますのでお問い合わせください。
- 健康状態が思わしくないときの出走はやめましょう。またレース中、具合が悪くなった場合は、途中でも競技をやめる勇気をもってください。
- 大会当日の千歳市内当番病院は下記の通りです。

8月3日（土） 内科系 休日夜間急病センター 千歳市東雲1丁目8-1

受付時間 14:00～翌7:00 TEL 0123-25-6131

外科系 緑町診療所 千歳市緑町1丁目3-30

受付時間 9:00～11:45 13:30～17:30 TEL 0123-29-3383

8月4日（日） 内科系 休日夜間急病センター 千歳市東雲1丁目8-1

受付時間 9:00～14:00 TEL 0123-25-6131

外科系 千歳市内なし

北海道救急医療・広域災害情報システム <https://www.gg.pref.hokkaido.jp/gg/gg01.asp>

